

平成26年度 下半期 市の財政状況を公表します



とうふうくん

市では、毎年6月と12月に財政状況を公表しています。

今回は、下半期（平成27年3月31日現在）の財政状況について公表します。

※各計数は、表示単位未滿を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

※5月末まで、収入・支出を整理する期間があるため、決算額ではありません。

一般会計

予算の状況（3月31日現在）

一般会計では、当初予算額が929億7千万円でしたが、補正予算を6回編成し、総額で34億1659万円を増額補正しました。また、前年度予算から16億7857万円を繰越し、予算現額は980億6516万円となりました。

< 11月補正予算（専決処分）の主な内容 >

衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査	9627万円
-----------------------	--------

< 12月補正予算の主な内容 >

老人福祉施設整備等補助	1億8967万円
人件費（給料）	△1億7265万円

< 1月補正予算（専決処分）の主な内容 >

過誤納還付金及び還付加算金	8000万円
---------------	--------

< 3月補正予算の主な内容 >

プレミアム付商品券・建設券発行事業	2億2100万円
幹線道路整備	7000万円

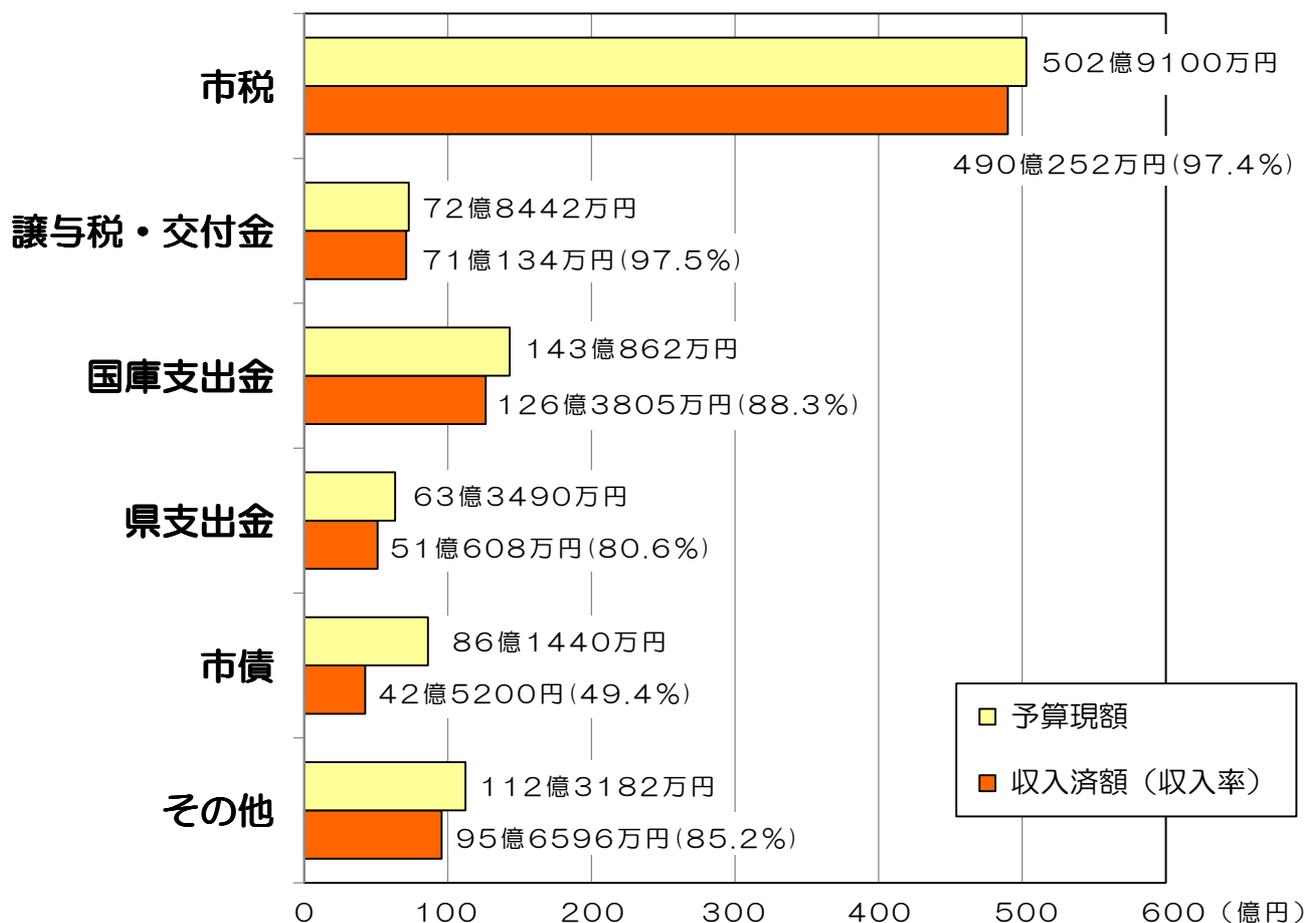
※9月30日までの補正予算の主な内容は、上半期で公表しています。

予算の執行状況（3月31日現在）

歳入

予算現額 980億6516万円

収入済額 876億6595万円（収入率89.4%）



市 税：市民税、固定資産税、都市計画税などです。

譲与税・交付金：自動車重量税など国税として徴収され、法令に定める配分基準に基づき市へ譲与される地方譲与税や、所得税・消費税など国税として徴収され、そのうち一定割合が市へ交付されるものです。

国庫支出金：国から支出される負担金、補助金などです。

県支出金：県から支出される負担金、補助金などです。

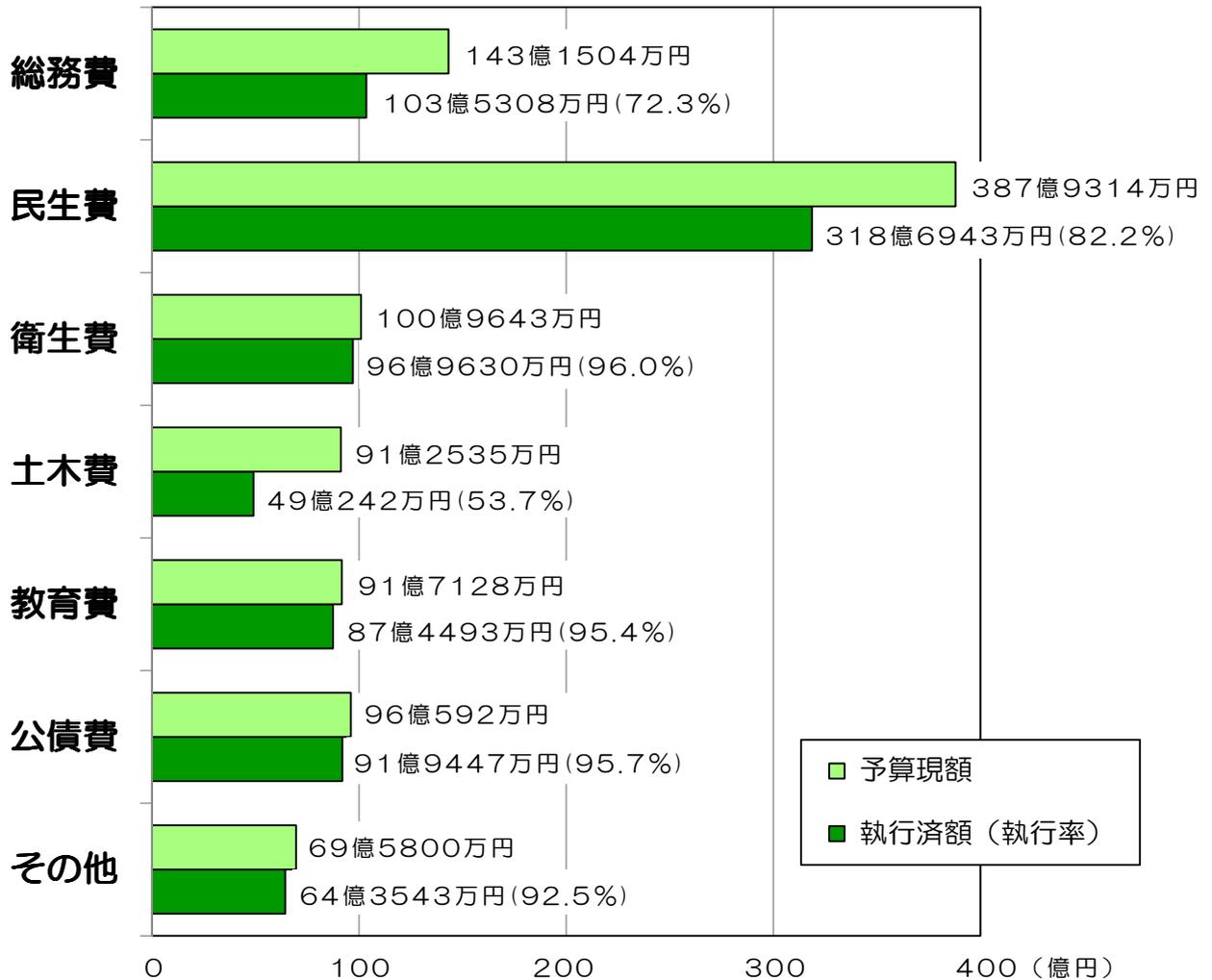
市 債：公共施設の整備などのため国・銀行等から借り入れるものです。

その他の収入：公共施設の使用料や、住民票の写しの交付などの手数料、基金を取崩し繰り入れた財源などです

歳出

予算現額 980億6516万円

執行済額 811億9606万円（執行率82.8%）



- 総務費：市政全般の管理費や徴税、選挙などを行うための費用です。
- 民生費：生活保護費や児童・高齢者・障がい者などのための施策を行う費用です。
- 衛生費：予防接種や各種検診、ごみの収集・処理などを行うための費用です。
- 土木費：道路・河川・まちづくり・住宅・公園などに要する費用です。
- 教育費：小・中学校の教育や社会教育などを行うための費用です。
- 公債費：市債の元利償還金に要する費用です。
- その他：消防や商工業、議会などに要する費用です。

特別会計

特別会計とは、特定の事業を行う場合や、特定の歳入をもって特定の歳出に充てる場合に、一般会計とは別に経理を独立して設けているものです。

一般会計とは別に経理を行うことで、特定の事業や資金運用の状況を、より明確にするために設けています。

現在、春日井市では10の特別会計を設けています。

予算の状況（3月31日現在）

特別会計では、当初予算額が630億9487万円でしたが、補正予算を編成し、総額で11億7316万円を増額補正しました。また、前年度予算から11億2795万円を繰越し、この結果、特別会計全体の予算現額は653億9598万円となりました。

<10月補正予算（専決処分）>

公共下水道事業特別会計	1306万円
-------------	--------

<12月補正予算>

国民健康保険事業特別会計	2億6319万円
--------------	----------

<1月補正予算（専決処分）>

国民健康保険事業特別会計	500万円
--------------	-------

※9月30日までの補正予算は、上半期で公表しています。



予算の執行状況（3月31日現在）

予算現額 653億9598万円

収入済額 478億 26万円（収入率73.1%）

執行済額 571億7107万円（執行率87.4%）

会計名	予算現額	収入済額	収入率
		執行済額	執行率
公共用地先行取得事業	2億7172万円	21万円	0.1%
		2億7172万円	100.0%
国民健康保険事業	333億4275万円	259億2354万円	77.7%
		282億4288万円	84.7%
後期高齢者医療事業	37億5534万円	28億9188万円	77.0%
		33億4177万円	89.0%
介護保険事業	176億9265万円	141億8437万円	80.2%
		154億1643万円	87.1%
介護サービス事業	1億922万円	1億1336万円	103.8%
		9717万円	89.0%
民家防音事業	3475万円	0円	0.0%
		2718万円	78.2%
潮見坂平和公園事業	1億7490万円	9362万円	53.5%
		1億695万円	61.1%
松河戸土地区画整理事業	4億3205万円	1億7337万円	40.1%
		3億7320万円	86.4%
勝川駅周辺総合整備事業	3億4670万円	8644万円	24.9%
		3億3455万円	96.5%
公共下水道事業	92億3590万円	43億3347万円	46.9%
		89億5923万円	97.0%

企業会計

企業会計とは、市が公共の福祉の増進を目的として設置し、経営する企業の会計です。

一般会計や特別会計が主に税金で賄われるのに対し、企業会計は提供するサービスの対価である料金収入によって維持されるものです。

予算の執行状況（3月31日現在）

会計名			予算現額	収入済額	収入率
				執行済額	執行率
市民病院事業	収益的	収入	153億4930万円	126億4347万円	82.4%
		支出	191億8075万円	175億1066万円	91.3%
	資本的	収入	1億8390万円	1億9476万円	105.9%
		支出	18億3697万円	18億637万円	98.3%
水道事業	収益的	収入	62億4182万円	63億2533万円	101.3%
		支出	58億288万円	56億1493万円	96.8%
	資本的	収入	1億4898万円	9620万円	64.6%
		支出	44億7473万円	30億884万円	67.2%

収益的収支：企業の経営活動にかかる収支です。収入は主に料金収入で、支出は人件費、固定資産の減価償却費などです。

資本的収支：施設の整備などにかかる収支です。収入は資産の取得のための企業債などで支出は施設の整備・拡充などの資産の取得費用や企業債の元金償還金です。



その他

一時借入金の状況（3月31日現在）

一時借入金とは、一会計年度内において、歳計現金が不足した場合に、その不足を補うために一時的に借り入れる資金のことです。

平成26年度の一般会計の一時借入金限度額は50億円となっています。下半期における借入実績はありません。

基金の状況（3月31日現在）

基金は家計の貯金にあたり、災害などの想定外の支出に対する備えや予定する収入が確保できない場合に取り崩して使用するほか、特定の目的を達成するために必要となる財源として積み立てを行っています。

基金名	現在高
財政調整基金	51億4001万円
市債管理基金	230万円
潮見坂平和公園墓地永代清掃基金	6億3575万円
潮見坂平和公園墓所整備基金	7億7260万円
社会奉仕活動奨励基金	6783万円
緑化振興基金	2億4830万円
スポーツ振興基金	1億1913万円
介護給付費準備基金	9億8836万円
市民メセナ基金	816万円
文化スポーツ施設整備基金	7億4898万円



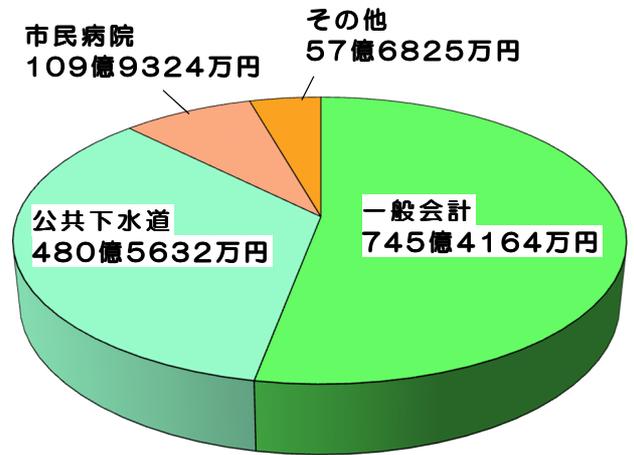
合計残高 87億3141万円

市債の状況（3月31日現在）

市債は家計に例えると、住宅ローンなどの借金に相当します。長期間使用する公共施設を整備するにあたり、世代間の費用負担の公平を図るため活用しますが、市債の償還が財政運営を圧迫することがないように計画的な借入に努めています。

会計別

会計名	市債残高
一般会計	745億4164万円
公共下水道事業特別会計	480億5632万円
市民病院事業会計	109億9324万円
水道事業会計	38億9905万円
公共用地先行取得事業特別会計	12億3770万円
松河戸土地区画整理事業特別会計	4億6521万円
勝川駅周辺総合整備事業特別会計	1億6629万円
合計	1393億5944万円



借入先別

借入先	市債残高
財務省	756億4996万円
銀行	328億 939万円
地方公共団体金融機構	148億5558万円
旧簡保・旧郵貯	93億7000万円
その他	66億7452万円
合計	1393億5944万円

